

上宮寺通信

第二十八号

耳なれ雀

京都の大学に通う次男が運転免許を取得しました。ただ、京都ではなかなか運転する機会がなく、帰省した折には家の車に使って練習をしています。

免許取ったばかり頃は、私自身もそうでしたが車の運転をしていくと仕方ない。運転していると少し大人になったような気がして気分がいいものでした。

でも、次男の運転はまだまだぎこちなく、見ている方がハラハラ。しかし、人のことは言えません。私も免許取り立ての時は車線変更もままならず曲がりたい角を通り過ぎるといふことも何度かありましたから。

車の運転に限らず、人間は慣れることによって順応していきます。それがあからこそ上達していくのですが、上達すればするほど、そこに魔の心が入り込んでいきます。それが傲慢(きようまん)の心です。

橋とはうぬぼれの心、慢とは他と比較して舞い上がる心を意味します。そして、この心は根本煩惱の一つとも教えられています。

私自身、これまで大きな事故を起こすこともなく、免許を取得して30年以上が過ぎました。運転に関しては余裕もでき、スムーズに運転できるようになったと自負しています。ただ、その余裕がときどき横着な運転につながってしまっているのではないかと反省することも。前を

走っている車が遅かったり、割り込みをされるとイライラしてしまいます。もちろん、あおり運転はしませんが…。

そのような心を持つ私たちを「耳なれ雀」として本願寺八代の蓮如上人は自戒の意味も込めて戒められています。「耳なれ雀」とは、雀よけに音を鳴らして追い払っていても、そのうちに雀も慣れてしまって、音が鳴っていないのが平気である様をいいます。

日常のことでも、仏法のことでも、最初は新鮮で一生懸命に取り組むけれども、慣れてくると手ですることを足でするようにぞんざいに扱ってしまう。そのような傲慢の心を持つのが私たちです。そういう我が身への

懺悔が「耳なれ雀」という言葉に込められています。

新型コロナウイルスがまた感染拡大傾向にあります。私たちは少し「慣れて」しまったのではないのでしょうか。いま一度、身を引き締める必要があるかもしれません。



◆行事案内

上宮寺の行事

元旦の修正会は中止にさせていただきます。

※元旦の午後1時～3時の間、本堂並びに納骨堂を自由に参拝できるように開放いたします。どうぞ年の始めに上宮寺にご家族でご参詣ください。

※お参りの際はマスク着用でお願いします。

名古屋別院(東別院) 報恩講
12月13日(日)～18日(金)

◆話題あれこれ

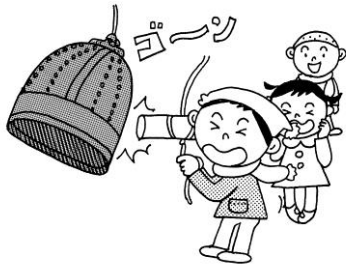
○11月8日の報恩講は天候にも恵まれ、多くの方にお参りをいただきました。感染予防のためのマスク着用、手指の消毒などのご協力もいただきありがとうございます。

○東別院の報恩講も今年はコロナ禍で大幅に変更となっております。お斎(食事)が事前申込制となりました。例年のように大根やがんもどきのお斎ではなく、お弁当になる予定です。お参りに行かれる予定の方はご注意ください。

○上宮寺の別院報恩講への団体参拝も今年は中止させていただきます。

○修正会での新年最初の運だめし、ビンゴ大会を楽しみにされていた方も多いと思いますが、今年は修正会自体を中止させていただきます。運だめしは無くとも、令和3年が皆さんにとって素晴らしい一年であるように心よりお祈り申し上げます。

○新型コロナウイルスのさらなる感染拡大が心配されます。どうか予防をしっかりして、良い年をお迎えください



【雑感】

京都・東本願寺の報恩講に行ってきた。コロナ禍で参拝者は例年に比べ少なく、暖かな日でしたが本山は寒々とした感じでした。法要が終わり、歩いて20分ほどの養源院に観光へ。ここは俵屋宗達の絵や血天井が有名で、参道の紅葉もきれいな穴場スポットです。丁寧に絵や血天井の説明をしていただけなのでかなりのお得感。ただ後で由緒をみると養源院の宗派が浄土真宗遣迎院派となっていました。浄土真宗でもこの派の名前は初めて聞きました。由来を聞いておけばよかつたなあと少し後悔。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

☎052-871-0547